

## 平成 22 年度学校経営診断を受けての改善状況報告について

平成 22 年度学校経営診断における指摘の改善状況を把握するため、平成 22 年度学校経営診断実施校について、改善状況を取りまとめた。

### 1 平成 22 年度学校経営診断実施校

#### 【高等学校】

《重点支援指定 2 年目校》

- (1) 葛飾野高校 (2) 日本橋高校 (3) 調布北高校 (4) 鷺宮高校 (5) 野津田高校  
(6) 府中西高校 (7) 保谷高校 (8) 東大和南高校

《その他の対象校》

- (9) 日比谷高校 (10) 青山高校 (11) 東高校 (12) 小岩高校 (13) 国際高校  
(14) 大島海洋国際高校 (15) 赤羽商業高校 (16) 戸山高校 (17) 八王子東高校 (18) 東村山西高校

#### 【特別支援学校】

- (19) 足立特別支援学校 (20) 墨田特別支援学校 (21) しいの木特別支援学校  
(22) 北特別支援学校 (23) 八王子東特別支援学校 (24) 小平特別支援学校

### 2 報告の方法

平成 22 年 9 月に取りまとめた「平成 22 年度学校経営診断の実施結果」において、診断ポイントごと

に課題として挙げられた事柄について、各学校が平成 23 年 6 月までの取組状況を報告した。

報告書の構成は以下のとおりである。

- (1) 経営診断を受けての校長意見（「平成 22 年度学校経営診断書」より）
- (2) 平成 22 年度学校経営診断を受けての取組状況（平成 23 年 6 月時点）
- (3) 今後の取組（総括）

### 3 取組状況の概要

#### 【高等学校の取組】

##### ○学習指導

##### （自学自習の指導の充実）

生徒が考査において科目ごとの到達目標点を申告し、自学自習を計画的に行うことができるようにしている。

##### （生徒の学力層に応じた取組）

応用力養成クラスを設置するなど、生徒の幅広い学力層に対応して、生徒が意欲的に学習し、学力の伸長を図ることができるようにしている。

##### （授業規律の確立に向けた組織的対応）

授業規律の確認項目を設定し、遵守を全教員で行っている。また、その項目に関して、授業記録を作成し、情報を教員同士で共有して改善に取り組んでいる。

##### ○進路指導

##### （組織的な国公立大学 2 次試験対策）

国公立大学 2 次試験受験者を対象に、進路指導部、各教科、学年が連携し、後期日程直前まで直前講習及び個別指導を実施した。

##### （3 年間を見通した個人別の指導）

入学時からの模擬試験等の結果をデータベース化し、上位層のケース会議を定期的に行うことと、指導体制を強化している。

##### （進路指導部を中心とした組織的な進路指導）

全学年で基礎力診断テストを実施し、客観的なデータに基づく進路指導を可能にするとともに、3 年間の進路指導計画に基づき、進路指導部と学年とが連携して進路学習を行う体制を強化している。

## ○生活指導

### (全学年の共通した指導)

企画調整会議や職員会議で生活指導部が企画立案し、それを各学年が実施していくこととしたことで、学年ごとの差異を小さくしている。

朝学習を導入したことによって、遅刻を大幅に減少させることができた。

## ○特別活動・部活動

### (実施上のルールの検討)

学校行事の見直しを図り、一部の学校行事を取りやめるとともに、文化祭の練習期間の見直しを行い、部活動の完全休息日も徹底するなど、特別活動や部活動の実施上のルール作りを行った。

## ○学校経営・組織体制

### (組織的な校務分掌運営)

分掌の主幹教諭・主任教諭が、各学期末に取組の中間総括を行い、修正・改善を図っている。

### (課題の共有化)

主幹教諭に所管分掌を中心に複数の担当を与えて進行管理を行わせることで、学科間の課題の共有化を図っている。

## 【特別支援学校の取組】

## ○学習指導

### (小学部から高等部までを見通した指導計画)

全員参加による模擬授業研究、研究授業、教材・教具の研究開発と校内発表会の成果を年間指導計画、個別指導計画等に反映させることで、改善を図っている。

## ○生活指導

### (組織的な生活指導)

各学年、職業コースの生活指導担当による生徒の生活指導上の情報交換を週一度行うようにしている。それを生活指導部主任が整理し、企画調整会議に生活指導方針を提起できるようにしている。

## ○進路指導

### (キャリア教育における系統性)

高等部の進路報告会や校内実習を小学部の児童・中学部の生徒に見学・参加させることで、現場実習をイメージさせ、進路についても興味・関心を持たせるようにして、小学部から高等部までの一貫したキャリア教育の実施に向けた改善を行っている。

## ○危機管理

### (危機管理マニュアルの作成・周知)

災害等に備え、消防及び電気・電源系統の取扱いを経営企画室職員及び教員に周知している。

## ○学校経営・組織体制

### (ネットワークを活用した情報伝達)

ネットワークを活用した情報伝達が定着し、ネットワーク上の掲示板において、教員発の情報も盛んに提供されている。

## ○地域等との連携

### (担当者による取組の差の解消)

副籍制度に関して、校内での説明会において、前年度うまくいったケースとそうでないケースを報告したり、教職員向けや生徒向けの印刷物を発行したりして、課題の共有化を図ることで、副籍制度への理解を深めている。